

# 防災支援ネットワーク基本構想の検討概要

## 1. 検討内容

東日本大震災の  
教訓

- ・想定を超えた災害への対応
- ・迅速な大部隊の投入と受入れの必要性
- ・機能が大幅に低下した被災市町村への支援
- ・救援物資供給の遅れ等

千葉県の  
現況

- ・受援計画が未整備
- ・物資集積拠点に県有公園等を指定しているが、物流施設としてのスペックを有しない
- ・活動拠点として180箇所の公園等がリストアップされているが、災害時の優先は担保されていない

千葉県の  
地理的条件

- ・半島性→長大な海岸を有し、災害時の救援部隊の陸路は茨城県側から
- ・都市部、都市近郊区、農漁村の併存
- ・東京湾岸地域への工業・交通・娯楽施設等の集中
- ・千葉市から放射線状に市町村に接続  
圏央道による環状路（一部未通）



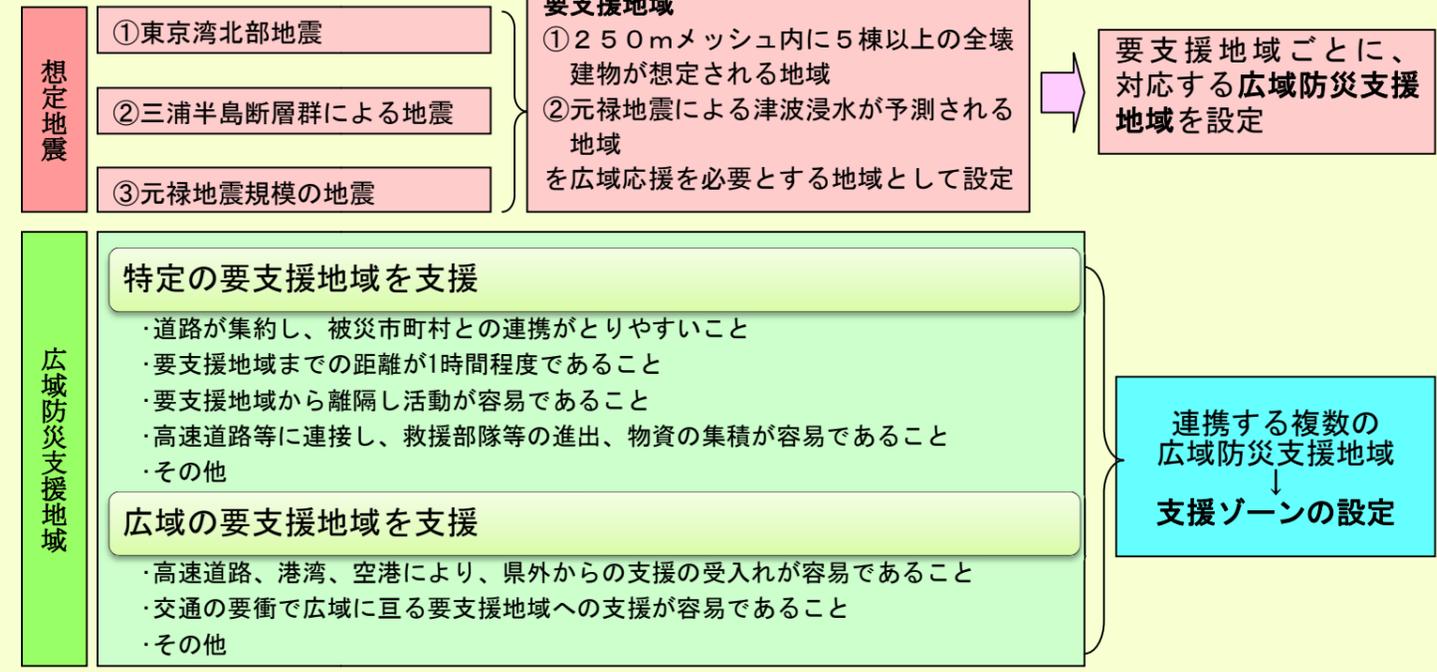
**防災支援ネットワーク構想**  
 ○既存施設を活用した分散型拠点  
 ○拠点の相互連携による柔軟・迅速な対応

**【趣旨】**  
 大規模な地震災害時には、県内の救助部隊や救援物資、医療資源では対応することが困難であるため、柔軟かつ迅速な県外からの広域支援の受入れ体制を確立する必要がある。

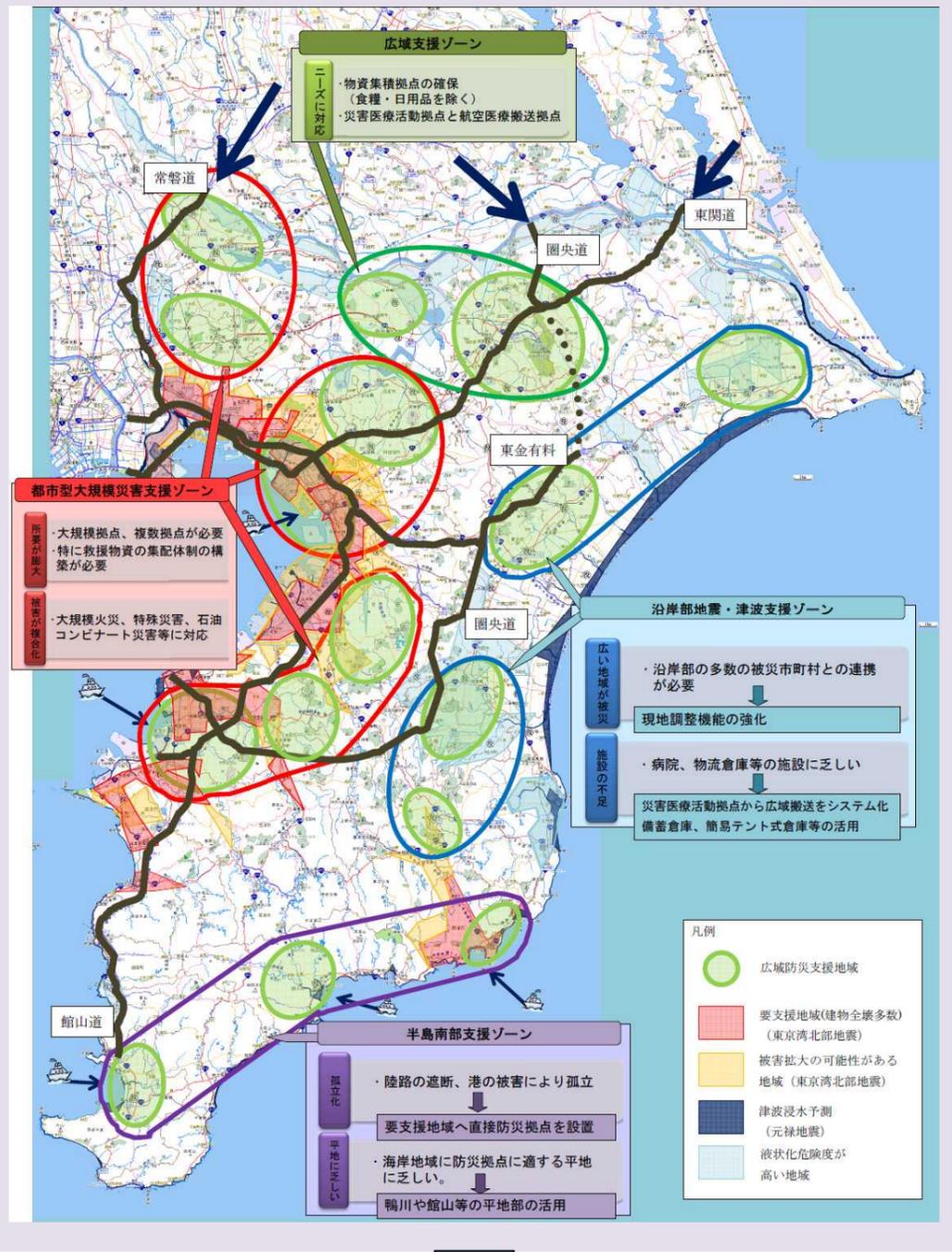
**【検討する機能】**

- ① 自衛隊、消防、警察など支援部隊の集結・活動機能
- ② 災害医療活動機能
- ③ 救援物資の集配・備蓄物資の供給機能
- ④ ボランティア等の集結・活動調整機能
- ⑤ 救援活動の統制・調整機能

## 2. 検討の手順



## 3. 防災支援ネットワーク基本構想



## 4. 今後の検討

- 基本計画**
- 1 各機能の定量的検討と広域防災拠点の配置
  - 2 防災支援ネットワークの機能強化
  - 3 公共施設のあり方、国への要望等